

# Q & A

## 「自衛隊を憲法上の存在に」

安倍9条改憲、分からないことがいっぱい・・・

### Q1 なぜ、今、憲法9条を変えるの？

安倍首相は、「違憲でも、命を張れというのは無責任」だとして、自衛隊を憲法上の存在にしようと主張しています。でも、自衛隊が生まれて64年。ずっと平和だったのに、どうして今、自衛隊を憲法上の存在にする必要があるのか全く明らかではありません。

### Q3 でも、9条の1項、2項は変えないで、自衛隊を書きこむだけなら、何も変わらないんじゃないの？

国民投票をするのには、850億円かかると言われています。何も変わらないのにこんなにお金を使うのは無駄遣いの最たるものです。

書き込まれる「自衛隊」の実像を知る必要性があります。安保法制成立後の自衛隊は、専守防衛の自衛隊ではありません。アメリカの戦争を助けるために、海外で集団的自衛権を行使する実力部隊です。自衛隊が、憲法に書き込まれば、安保法制が違憲だという批判は成り立たなくなりますし、海外でも無制限に戦争のできる国になります。国家機密は横行し、報道の制限も一層進むでしょう。軍事費が増大することは明らかで、社会保障費が削られます。将来的には徴兵制、徴用制も正当化されます。すなわち、憲法9条2項は死文化します。

### Q4 ひどい！ 私たちはどうしたらよいの？

今、安倍9条改憲を止めさせるために3000万人署名が取り組まれています。国民投票運動には、お金の規制はないので、お金をもっているものがマスコミを買い占めることができますし、国民投票の制度も穴だらけです。ですから、発議をさせないことが重要であり、3000万人署名は、発議をさせないためのものです。

しかし、3000万人署名は、そうやさしいものではありません。消費税増税反対なら、すんなり協力してくれる人でも、憲法改正の問題となると、なかなか署名してくれません。憲法って、身近な話題にはのぼらないし、憲法と法律の違いも知らない人も多いと思います。議論を恐れないことが大事だと思います。「3000万人署名」をきっかけに、憲法って何なのかを考えましょう。

### Q2 北朝鮮がミサイルを撃ってくるから、自衛のための軍事力の保持は、憲法上明記すべきなんじゃないの？

自衛隊を憲法上の存在にしても、北朝鮮がミサイルを撃つのを止めるとは思えませんが、その点は置くとして、1機1000億円もするイーグリスアショアでも、我が国国土を守ることはできません。飛んでくるミサイルの高度も分からなければ、位置も分からないからです。安倍首相が言ったように、ミサイル攻撃に対抗するには先制攻撃で、敵のミサイル発射基地を叩くしかないのです。しかし、これは自衛力ではありません。

北朝鮮は、確かに何度もミサイルを撃っていますが、日本をめぐって撃ったことは1度もありません。安倍政権は、北朝鮮が「襟裳岬沖2000キロ地点にミサイルを撃った」として、アラームを鳴らしましたが、2000キロは、東京と北京の距離です。アラームを鳴らす意味は全くありません。安倍政権が、北朝鮮の脅威を利用しているとしか考えられません。

それでは、どういう場合に北朝鮮が日本めぐってミサイルを撃ってくるのでしょうか。それは、アメリカが北朝鮮に軍事力を用い、日本がそれに協力した時ではないでしょうか。集団的自衛権こそ、ミサイルの飛来を呼び込む危険性を持っているのです。

安倍首相は、北朝鮮の核開発やミサイルの発射に対し、「圧力を加える」と言い続けましたが、南北首脳会談が行われ、北朝鮮とアメリカとの協議が目前となり、日本は「蚊帳の外」です。いまや、安倍首相の言っていた「北朝鮮の脅威」が9条改憲を実現するための嘘であったことが明らかになっています。

9条改憲NO!

3000万の声を届けよう!

安倍9条改憲NO!  
憲法を生かす全国統一署名  
にご協力をお願いします。

安倍9条改憲NO!  
全国市民アクション

〒110-0044 東京都千代田区麹町1-2-3 第2館444A TEL: 03-5260-7157  
Twitter: @no9kaikeno Instagram: @9jyokaikeino7  
Facebook: /kaikeno7